

島根電工グループ みらい共創—自鳴—ラボにおける活動の動画 (当校の Instagram をご覧ください)

7月16日(木)、「島根電工グループ みらい共創—自鳴—ラボ」に建築・電気科の3年生がご招待をいただき、さまざまな体験をさせていただいた動画を当校の Instagram において紹介させていただきます。

7月13日(月)にオープンされたばかりのラボの初めての授業としてご招待をいただきました。VRを用いた高所作業車における危険、危険作業(短絡・ショート)、危険作業(感電)を生徒が安全に体験させていただいた様子です。生徒の怖がり方が大げさに見えますが、危険な体験が安全かつ実体験に限りなく近い形で体験でき、全ての生徒が同様の怖がり方をしていました。

生徒の感想として、「学校では絶対に体験できない危険なことを体験してみて、安全作業をすることの大切さがあらためて理解できた」、「自分は建築が専門だが、現場には電気配線もあり、電気の危険さが体験できたのがとても勉強になった」等がありました。

当校のグランドデザインの目指す生徒像にある「危険予知能力を身につけた人」を達成するためにも、とても重要な授業となりました。また、危険体験以外の研修設備も素晴らしく、学校では体験できないカリキュラムがたくさん体験できました。今後、当校では島根電工株式会社様のご協力をいただきながら、学校での学びを深化させるために、定期的にラボでのご指導をお願いできたらと考えております。

尚、他の体験の様子も後日、紹介させていただく予定です。

島根電工株式会社様、ありがとうございました。



S N Sにも掲載します

